

八千四百以上三十三日の場合に復在し工賃三復帰せり
 十一回着るや午へタルに代表者之二相も也ス 於是會
 社例ハ六千五百個ヲ請買トシ之を一月毎滿
 二生産シ終リタル時ハ職員ノ日數ニ對シテハ十八
 年十月ヨリ本年一月迄ノ平均工賃ヲ常備トシテ
 支給スヘク務更ニシテ代表者ハ之ニ應ジテ之ヲ
 一般職工ニ認知シテ之ニ論議トシテナリキ
 十五日人會社例ハ職工代表者ハ出社ノ渡邊
 滿三葉拒致シテ前日會社ニ對シテ職工ハ之ヲ
 徴シタルニ職工ハ之ヲ異議ヲ唱ヘ到底解決ノ見込
 ナキヲ以テ其間要求ヲ撤回シテ後六千五百個を生
 産シ對シテ十二割増額セリ之度旨更ニ要求スル所
 アリしが會社例斷然之ヲ拒ミ代表者ハ職工

一月ニ認知タル止ニ度示示生ニ對シテ十四割増
 額工賃ヲ要求シタルモ素直ニリ人會社ノ意ハ之ノ所ト
 ナラス職工等極力目的貫徹セシメ多数職工ハ
 代表者ヲ應援スヘク會見所附近ニ押寄也
 一昨喧嘩ヲ極ナタルガ會社例ハ之ノ情勢力ニ對シ
 怖シタルモノセリ之ヲ老記條件ヲ提示シ人ニ
 午後二時契約書ノ形式ニ依リ双方調印後ニ解
 決トシケケナリ

契約書

千九百二十年
 中日田共三三三

毎月六千五百個迄は従前通り工賃ヲ支拂フ